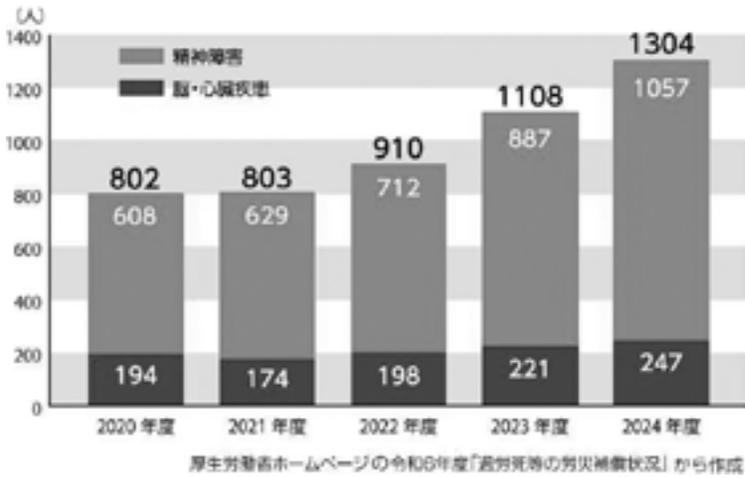




過労死等に関する労災認定件数の推移



労働時間の規制緩和「論外」 労働者の要求ではなく、財界の要望だ

時短と一体の賃上げ求める

日本共産党が国会追及

日本共産党の小池晃書記局長が13日、参院予算委で質問。厚労省の試算で、月80時間の残業規制を超えて働きたい労働者は0・1%にすぎず、労働者は規制緩和を望んでいないと指摘。「労働時間の規

制緩和は労働者の要求ではなく、財界の要望だ。さらに搾取したい財界の悲願で、企業側の論理だ」と追及しました。これにたいし高市首相は、生活のため副業している人を取り上げて規制緩和を当

然視する筋違いの答弁。小池氏はパネル(図)を示し、「過労死等」での労災認定数が過去最多を記録したことを告発。裁量労働制など長時間労働を拡大する法律が横行している中、規制緩和などは「論外」

と述べて撤回を要求しました。

さらに「男女がともに家事や育児、介護などのケアを分かち合える社会にするためにも、労働者が自由に使える時間を確保することは重要な課題だ」と強調。大企業には賃上げできる力が十分にあるとして、賃上げと一体の労働時間短縮を強く求めました。

投書

高市首相の巧言令色騙されていられない

財界要望にそって打ち出した労働時間の規制緩和方針に対する追及に対し、高市首相は「残業時間の規制のために働きたい人が働けず、生活費を稼ぐために無理をして慣れない副業をすることで健康を損ねる方が出ることも私自身は心配」と発言。

低賃金と物価高を放置してきた無責任を棚

今週の数字

- 自維連立・高市政権 悪政メニュー
- ▼軍事費のGDP比2% (11兆円) 引き上げ目標を2年前倒しで実施
 - ▼医療費4兆円削減 (高齢者の窓口負担3割、OTC類似薬の保険外し、病床削減など)
 - ▼選択的夫婦別姓でなく「旧姓の通称使用」法制化
 - ▼労働時間延長へ規制を緩和
 - ▼国民監視・統制強化の「スパイ防止法」制定
 - ▼憲法9条の改悪
 - ▼国会議員定数削減

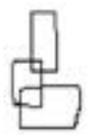
米シアトル市長に「社会主義者」

生活苦改善・富裕層課税など訴え 現職破り当選

アメリカ西部シアトルの市長選で、自ら社会主義者と名乗り富裕層課税などを訴えたケイティ・ウィルソン氏(43)が現職を破り当選しました(13日)。

シアトルはインターネット通販大手アマゾンや巨大IT企業マイクロソフトなどの大企

業が集まるところです。ウィルソン氏は、夫と2歳の娘とともにアパート暮らし。選挙戦では保育料の支払いに自身の両親から支援を受けている生活実態も公言して、貧富の格差を批判。市の住宅政策の拡充や市営の食料品店の設立を公約に掲げました。



インピーダンスにカンパをお願いします

インピーダンス編集委員会

(H)

熊本市中心地の陸上自衛隊駐屯地に長射程ミサイル配備計画 撤回を求め集い・パレード 1200人



参政党の神谷宗幣代表は街頭演説で、公務員について「極端な思想の人たちは辞めてもらわないといけない。これを洗い出すのがスパイ防止法です」と発言しました。

自由法曹団の中谷雄二弁護士は、スパイ防止法ができた米

国では敵国の手先だと思われて反戦活動をした人たちが処罰され、言論そのものが差し止められた。またマツカーシーの『アカ狩り』で知られるレッドパージは戦後の日本でも吹き荒れ、公務員や民間企業労働者が職場から排斥された。スパイ防止法を通せば、そうい

自国維参が競い合い 「スパイ防止法」は何を狙う③ 思想「洗い出し」弾圧

う危ない状況がつかられかねず、戦前の治安維持法などによる国民弾圧と同じようなことが起きる危険があると指摘、自分たちの自由を手放すことはできないと訴えます。

先週号の「連合の労働時間規制緩和批判のアピール」が話題に「『現行の時間外労働の上限規制は過労死認定ラインだ』『緩和は働き方改革に逆行』はその通りだ」「豊かな生活時間を確保する法改正の実現の訴えも賛同できる」「『全国過労死を考

「東北から北海道にかけては早くも大雪だ」「サザンカが咲いている」



第23回 東京科学シンポジウム 理性と希望の平和な時代を拓く — 理性的ルールにもとづいた社会をめざし —

日時：12月6日(土)～7日(日)

会場：中央大学多摩キャンパス(八王子)

●特別報告

1. 早尾貴紀さん(東京経済大学教授)「ガザ実験室— 占領テクノロジーからジェノサイド・テクノロジーへ」
2. 羽場久美子さん(青山学院大学名誉教授・城西国際大学特別荣誉教授)「戦後80年、加害と被害、日本の軍事化の危険性」

●平和、気候危機・エネルギー、生成AI、リニア中央新幹線、軍学共同、若手研究者、非正規教職員の労働運動、高等教育問題など16分科会

シンポジウム参加費 2000円

参加申し込み <http://jsa-tokyo.jp/>

主催：日本科学者会議東京支部

第23回東京科学シンポジウム関連企画 歌とギター演奏・朗読・トーク・被爆証言

11月26日(水) 14:30～16:00 参加費無料

会場：バルテノン多摩2F オープンスタジオ

多摩モノレール「多摩センター駅」より徒歩5分

主催：日本科学者会議東京支部

後援：原水爆禁止多摩協議会

職場から

柏崎刈羽原発の再稼働容認。「新潟県の花角英世知事は、6、7号機の再稼働を容認すると表明した」「再稼働すれば2011年の東日本

大震災以来、東電の原発では初めてだ」「福島第1原発事故の被害補償や、ふるさと再建はまだ道半ばだ」「その責任が問われている最中に再稼働は許されない」



える家族の会』も規制緩和に反対している」

×

コメ相対価格56%上昇。「農水省が18日発表した2025年産の10月の価格は3万7058円と前月を163円上回った」

×

大分市佐賀関で大火災発生。「170棟以上が焼失した」「強風が被害を拡大したようだ」「火の粉が対岸の島まで飛んだ」「住宅密集地のため、消火活動が困難だった」「年の瀬で気の毒だ」「関サバ、関アジで有名なところだ」

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 990円

